

事業名

富加町公民館講座 介護に関する連続講座③

～相談すれば心が軽く介護の向こうに、笑顔のとびらが！！～

主催

富加町高齢福祉係
特定医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル／サントピアみのかも

日時

令和 5年 5月 20日(土) 13:30～15:00

場所

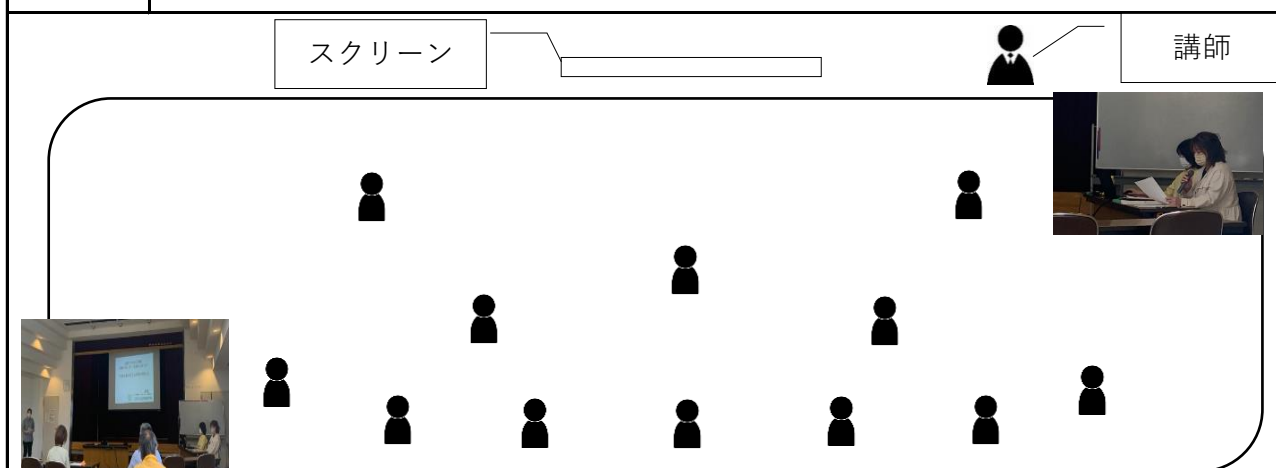
タウンホールとみか

講師

サントピアみのかも 介護福祉士 渡邊 美樹 / 吉田 信

まこと

活動報告



<講演会について>

この公民館講座は4か月間にわたり、**全6回**の講座で構成されています。

今回は第3回目。「**介護基本 こんなときの対応方法**」というテーマ。

参加者の皆さまより事前にいただいた**アンケート**「認知症・介護について知りたいこと」への回答をメインに進める。

介護を受ける主体者ならびに介護を提供する介護者共に負担やストレスを背負わないよう、介護の際の注意などを、きめ細かく説明。

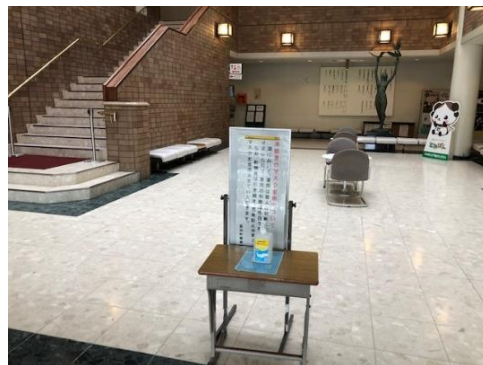
今回、当法人内の職員が研修（学びの場）で行う『危険予知トレーニング（普段の生活場面での危険な場所探し）』も体験して頂く。

<基本的な感染対策について>

会場の定員数はソーシャルディスタンスが保てる座席配置を考慮して設定しておりました。

また参加時のマスク着用徹底、受付での検温や問診なども実施しています。

換気を行いつつ3密を避けた会場でした。



参加者

12名

(含む 運営スタッフ)

講座当日の様子



会場は「富加町のタウンホールとみか」。新型コロナに関して、感染症法5類へ移行となりましたが、基本的な感染対策は徹底しながらの開催です。



『こんなときは...どうすれば良いのか?』皆さん個々の不安に...日常、介護を通じて多くの高齢の方と関わる介護福祉士（講師）からの回答。「なるほど～!!」と納得の一言。

認知症の方は性格や状況、病状などによって『〇〇すれば、絶対大丈夫です』というのはありませんが、認知症の人の世界に私たちがお邪魔するというくらいの気持ちで接し、その中で共通点を見つけていくと意外と上手くいきます。

ただ、介護側に心の余裕がない時は、イライラしたり、腹立たしくなる事もあるでしょう。どうしてもその衝動が抑えきれない場合は「休んでもいいんだ」ということを思い出してみてください。そのような精神状態で認知症の人と接すると、自然とそういった感情が相手にも伝わり、症状悪化の原因にもつながることもあります。

また、そのようなことが繰り返されることによって、介護する側とされる側の間に溝が生じ、信頼関係がだんだんと崩れて行く可能性は十分に考えられます。責任感が強かったり、相手への思い入れが強ければ強いほどそういった悪循環は繰り返され、最悪の場合は犯罪にも繋がりがかねないのです。

大切な人を頑張らせて介護するということはとても立派なことだと思います。しかし、終わりの見えない介護というのは精神的にも肉体的にもかなりの負担を伴うものです。一人で頑張り過ぎず、国の提供するサービスなどを適度に取り入れて、細く長くお世話をしていくということが、大切な人を最後までしっかり守り切ってあげることではないでしょうか。

本日の講師を務めた吉田介護福祉士と渡邊介護福祉士が所属する「サントピアみのかも」の職員が必ず学ぶ1ページ。

特定医療法人 清仁会 老人保健施設
サントピアみのかも